

# ペレットストーブ



ペレットの燃料形状。燃料のサイズは $\approx 6\phi\text{mm} \times 15 \sim 20\text{mm}$ です。これをスクリーモーターで燃料ホッパーの底部から燃焼炉に供給します。



ペレットは大体 20kg で 1,400 円くらい。15 帖くらいのお部屋だと一日 10kg くらいの使用量になります。

ペレットストーブは北欧で多く使用されています。最近では国産の機種もありますね。価格はまだまだ高く 30 万〜70 万円くらいします。デザインは北欧の機種がよいです。北欧の機種はタイマーや燃焼制御関係は充実していて、点火方法も電極で自動点火する構造になっています。

弊社でも数種類の機種を海外から輸入して燃焼実験をしています。海外の製品は燃焼ファンや室内対流ファンの騒音が大きいので、日本の気密性の高い住宅では慎重に選択するほうがよいでしょう。テナントなど広い空間には適しています。

灰の量はうまく燃やすと 8 時間運転で大体 40〜60g です。メンテナンスを考えると煙突タイプは年に 1 回は煙突掃除をしなければなりませんので、FF 方式（給排気を外部からの機種を選んだほうが手間がかかりません（煙突掃除を怠ると火災の原因になることもあります）。

日常のお手入れですが、1 日最低 1 回は燃焼ポットの清掃と灰の回収を行う必要があります。1 シーズンに 1 回はファンまわりと本体の清掃が必要です。清掃の時は灰の処理などで汚れますので、床や後部の壁面は不燃性のタイルなどで仕上げるとうよいでしょう！

運転時のおいですが木を燃やしますので、”きな臭い” においがどうしてもします。薪ストーブと同様だと思ってください。

燃料のホッパーは 10kg〜20kg のペレットが一度に本体に入れます。15 帖くらいの部屋の大きさであれば一日の燃料の使用料は 10kg くらいです。ペレット 10kg の価格は 700 円くらい、1 カ月の燃料代は 700 円×31 日 = 22000 円くらいになります。停電時には不完全燃焼状態になりますので、すぐ換気をする必要があります。

これらを考えると、薪ストーブより手間は少ないですが掃除などの手間は多少かかるとっておくのがよいでしょう。炎のゆらぎは薪ストーブと同じように楽しめます。

もう少し本体価格が下がれば設置する方も増えてくると思います。いまは灯油の価格も安定していますが、高騰してくるとペレットストーブの導入を考えてみるのもよいと思います。導入にあたっては設置している方にメリット、デメリットを聞いてみるものよいでしょう。時間に余裕がある方におすすめします。

株式会社ふじ研究所 代表取締役 佐橋 光好（さはし みつよし）

| 昭和 34 年生まれ 五黄土星 3 人家族 五感を大切にしています | 好きな言葉は『自分に厳しく人に優しく』 | 趣味は旧車・ドライブ・パソコン